

ソフトウェアについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年11月11日)

1.

MATLAB について、現在京大全体で MathWorks 社に支払っている金額で上記ライセンスを締結できる、との情報を得ましたが、なぜ締結ができないのでしょうか。

現在でも研究室にて MATLAB を使用できますが、研究室のネットワークに接続していないと使えないため、学外で使用する場合、非常に不便です。キャンパス包括ライセンスがあれば、オフラインでも使用可能であり、利便性が向上するため、ぜひとも検討していただきたいです。

また、昨今では、プログラミング教育が義務化されるように、文理を問わずプログラミング能力が重要とされています。MATLAB はプログラミング言語としては比較的容易でありながら、活用範囲が広く、理系の学生のみならず、文系の学生も利用できる素晴らしいツールです。学生の活躍の場を広げるためにも、導入の検討をお願いしたいです。

2.

Microsoft Office365, Adobe Illustrator など、他大学では無償化されているソフトウェアが京都大学では無償で提供されておりません。

大学全体として予算が限られている、との回答が過去にいくつかあり、この点について重々承知していますが、なぜこのような状況になっているのか、甚だ疑問に感じております。予算に限りがあるのは承知の上ですが、他大学では可能で、京都大学にはできない理由は何でしょうか？他大学よりも予算が少ない、あるいは学生が多い、という事情があるのであれば教えていただけないでしょうか。

また、予算の詳細について知りたい場合、どこに連絡をすればいいのでしょうか。

【回答】(回答日:2022年1月11日)

(回答部署:情報部情報推進課)

データ解析等の数値計算プラットフォームソフトウェアである MATLAB は、理系部局・研究室を中心に学内で広く使われております。現在、この MATLAB の学内利用者の支出金額を総計すると、ご指摘の通りキャンパスワイドライセンスの契約を行いうる金額になります。キャンパスワイドライセンス契約の締結を行った場合、学内の全教職員・学生が MATLAB の全てのオプションを学内外問わず利用できるようになりますので、利便性や機能面でのメリットは非常に大きいと認識しております。

同様に現在学内で広く使われているソフトウェアとして Microsoft Office365, Adobe Illustrator などが挙げられるところですが、学内で使われるソフトウェアの種類は非常に多岐にわたっており、本学では利用を希望される方(部局単位、研究室単位、個人単位)がお持ち

の予算にて費用を負担することが原則となっています。

これまで個別にソフトウェアの費用負担の問題が検討されてきましたが、全学的な枠組みでソフトウェアの費用負担を検討することを目的に、今年度新たにソフトウェアライセンスを検討する全学的な委員会が設けられました。今後はこの委員会を起点として、学内での検討がなされる予定です。